

ナノメカニクスによる半導体量子ドットの発光特性制御



Strain Measurement using Photoluminescence Characteristics of Quantum Dots due to Nanoscale Indentation of Semiconductor Quantum Dots

荒居善雄(埼玉大),尾笹一成(理研), Liang Yuanhua (埼玉大院)

Saitama University, 255 shimo-ohkubo, sakura-ku , Saitama , Saitama 338-8570, Japan The Institute of Physical and Chemical Research (RIKEN), 2-1 Hirosawa, Wako, Saitama 351-0198, Japan



- 圧子半径・荷重測定に伴う誤差の影響を考慮した時、30nm以上の精度で位置同定が可能なことが分かった。また、人為的誤差の 影響は経験により誤差を無視出来ることが分かった。
- ・Scan試験結果に対して位置同定計算を行ったところ、QDの発光のほとんどは圧子の端部付近で観察できたことが分かった。
- ・解析結果から価電子帯は圧子端部付近で極大値を取り、<u>holeは圧子端部付近に全て集まり、発光が強く</u>なることが分かった。